



ポリマーセメント系塗膜防水材料

セラタック® Cerretac



[地上部位用セラタック®G]

注意事項

〈施工上の注意〉

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適当な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華(エフロ)が発生することがありますが、品質に異常はありません。

〈使用上の注意〉

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。

〈応急処置〉

- 目に入った場合：直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合：直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合：多量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈保管上の注意〉

- (粉体)
- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は3ヶ月以内に使用しきってください。
- (混和液、プライマー、トップコート)
- 凍結や直射日光を避けるために必ず室内(5~40℃)に保管してください。
- 開封後の使用残は密封した状態で保管してください。

〈輸送上の注意〉

- 粉体、混和液とも内容物の漏れが無い事を確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水漏れに注意してください。

〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

〈漏出時の注意〉

- 飛散した粉体は掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 流出した混和液を流路を毛布、土壌等を用いてせき止め、バキューム等で吸い上げるか、少量の場合はおが屑、ウエス、乾燥砂等に吸収させて回収し焼却してください。
- 粉体が混合した排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

〈環境への配慮〉

- 混和液が海、河川、湖沼、池、下水道、公共用水域へ流出すると、広範囲にわたって汚濁汚染することとなるので、絶対に破棄したり誤って流入させないでください。万が一流入した場合は地方自治体の担当者に直ちに連絡してください。また、地下水を汚染するおそれのある地中には捨てないでください。

このカタログの記載内容は'10.3月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

昭和電工建材株式会社

■本社・建設資材営業部

〒221-0024
横浜市神奈川区恵比須町2-1
TEL (045) 444-1691
FAX (045) 444-1699
<http://www.sdk.co.jp/kenzai/>

[■ ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所]

■仙台営業所	〒983-0044	仙台市宮城野区宮千代3-2-14	TEL (022) 236-7108	FAX (022) 283-0694
■名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄2-9-26	TEL (052) 218-8085	FAX (052) 202-1202
■大阪営業所	〒532-0011	大阪市淀川区西中島6-5-3	TEL (06) 6100-2202	FAX (06) 6100-1232
■福岡営業所	〒812-0025	福岡市博多区店屋町5-22	TEL (092) 281-9881	FAX (092) 281-9505
■横浜出荷センター	〒221-0863	横浜市神奈川区羽沢町字天屋83-1	TEL (045) 370-6830	FAX (045) 370-6832
■札幌出荷センター	〒003-0828	札幌市白石区菊水元町8条3-651-12	TEL (011) 872-2671	FAX (011) 871-0882
■東松山出荷センター	〒355-0076	東松山市下唐子1511-1	TEL (0493) 27-0111	FAX (0493) 25-1723
■千葉出荷センター	〒274-0081	船橋市小野田町857	TEL (047) 457-3458	FAX (047) 457-2153

SHOWA DENKO KENZAI K.K.

ISO 9001 認証取得

建物の安全性を考えるとということ。
それは住みよい街づくりにも反映しているのだと
私達は思います。

ひび割れや水漏れのない清潔感あふれる建物。
それは耐久性だけでなく、美しい外観づくりにも役立っているのです。
使う人にも地球にも優しく。
これからも、私達は建物のことを追求していきます。

クラック 追随性

コンクリートに微細なひび割れが発生しても、セレタック防水層が伸長し防水機能を保持します。

施工性

ローラー、刷毛、コテ、吹き付けで施工ができます。材料の調合は粉体、混和液が所定混合比率にセット化されているので正確で簡単です。

接着性

浸透性に優れた超微粒子カチオンアクリル樹脂系のプライマーによりコンクリート、モルタル下地に対して接着効果を高め、鉄板、ステンレス板、エポキシ床材等とも良好な接着力が得られます。

耐久性

耐アルカリ性、耐候性、耐摩耗性に優れます。

安全性

- ・環境に配慮した製品です。
ホルムアルデヒド放散等級分類 F☆☆☆☆ 対応(日本建築仕上材工業会登録)
- ・厚生労働省令第5号の水質基準(46項目)に適合しています。(セレタック® JW、セレタック® トップコート JW)

対応規格

セレタック®G

- 日本建築学会
ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説
「ポリマーセメント系塗膜防水材」品質基準対応
- UR都市機構
機材の品質判定基準(平成16年度版)
「無機質系塗膜防水材」品質基準対応

セレタック®S

- 日本建築学会
ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説
「ポリマーセメント系塗膜防水材」品質基準対応

セレタック®JW

- 厚生労働省令第5号 水質基準適合

ホルムアルデヒド放散等級分類

日本建築仕上材工業会登録	
商 品 名	セレタック®G
表示登録番号	0702017
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	昭和電工建材株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

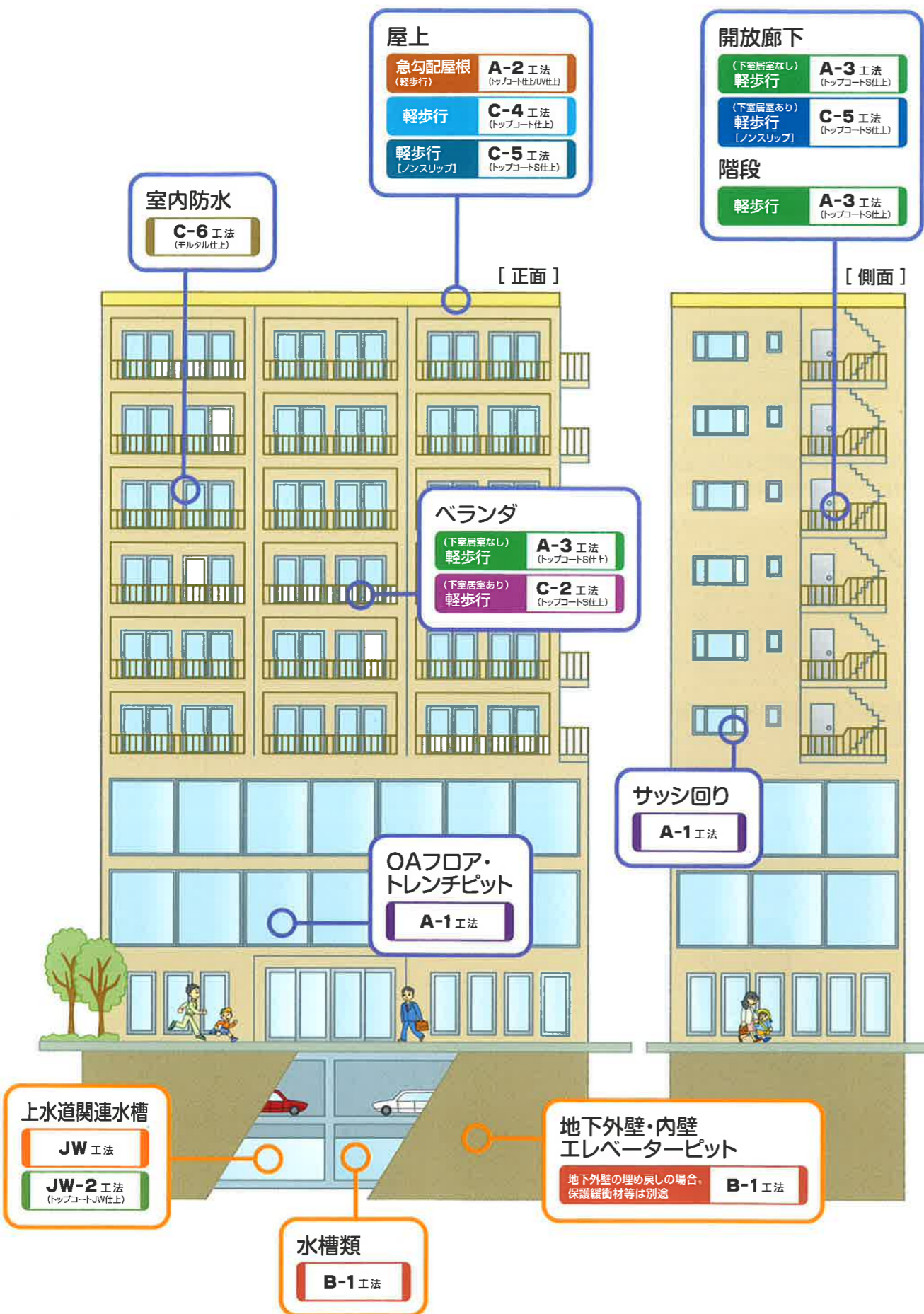
日本建築仕上材工業会登録	
商 品 名	ショウワカチオンプライマー
表示登録番号	0702018
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	昭和電工建材株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

日本建築仕上材工業会登録	
商 品 名	セレタック®S
表示登録番号	0602018
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	昭和電工建材株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

日本建築仕上材工業会登録	
商 品 名	セレタック®トップコート
表示登録番号	0305314
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	昭和電工建材株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

日本建築仕上材工業会登録	
商 品 名	セレタック®JW
表示登録番号	0702016
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	昭和電工建材株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

セレタック®は、あらゆるところで活躍しています。



意外にも身近なところで。

私たちが気が付かない場所でもセレタック®は活躍しているのです。

快適に暮らせる環境を創るために、優しく、力強く、その優れた性能を発揮しています。

セレタック®防水工法概要

■標準仕様

工法名	工程	塗布量 (kg/m ²)	適用部位	日本建築学会 対応仕様※1	防水層 平均厚み (mm)
A-1工法	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	サッシ回り、トレンチピット OAフロア、笠木、バラベットの回り他	PA-1	0.8以上
	防水層	セレタック®G			
C-1工法 (トップコート別途)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	ベランダ (下階居室あり)他	PA-2	1.1以上
	防水層	セレタック®G			
	+補強材	クロス(補強材)			
C-3工法 (トップコート別途)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	屋上 (軽歩行) 開放廊下 (下階居室あり)他	PA-3	1.6以上
	防水層	セレタック®G			
	+補強材	クロス(補強材)			
B-1工法	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	水槽類 (受水槽、防火水槽、中水槽、雨水貯留槽他) 地下外壁 (埋め戻しの場合、保護緩衝材等は別途) 地下内壁、エレベーターピット他	PB-1	1.1以上
	防水層	セレタック®S			

■保護・仕上仕様

工法名	工程	塗布量 (kg/m ²)	適用部位	日本建築学会 対応仕様※1	防水層 平均厚み (mm)
A-2工法 (トップコート仕上 /UV仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	ひさし、急勾配屋根他	PA-1 (軽歩行仕上げ)	0.8以上
	防水層	セレタック®G			
	保護・仕上げ	トップコート/トップコートUV			
A-3工法 (トップコートS仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	ベランダ (下階居室なし) 開放廊下 (下階居室なし) 階段 他	PA-1 (軽歩行仕上げ)	0.8以上
	防水層	セレタック®G			
	保護・仕上げ	トップコートS			
C-2工法 (トップコートS仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	ベランダ (下階居室あり)他	PA-2 (軽歩行仕上げ)	1.1以上
	防水層	セレタック®G			
	+補強材	クロス(補強材)			
C-4工法 (トップコート仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	屋上 (軽歩行)他	PA-3 (軽歩行仕上げ)	1.6以上
	防水層	セレタック®G			
	+補強材	クロス(補強材)			
C-5工法 (トップコートS仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	屋上 (軽歩行) 開放廊下 (下階居室あり)他	PA-3 (軽歩行仕上げ)	1.6以上
	防水層	セレタック®G			
	+補強材	クロス(補強材)			
C-6工法 (モルタル仕上)	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	浴室 厨房 トイレ他	PA-3 (モルタル仕上げ)	1.6以上
	防水層	セレタック®G			
	+補強材	クロス(補強材)			

※ トップコートUVを使用した場合の塗布量です。

■上水道仕様※1

工法名	工程	塗布量 (kg/m ²)	適用部位	日本建築学会 対応仕様※2	防水層 平均厚み (mm)
JW工法	防水層	セレタック®JW	上水道関連水槽 (飲料水用水槽、浄水場、配水池)他	PB-1	1.1以上
JW-2工法 (トップコートJW仕上)	防水層	セレタック®JW			
	保護・仕上げ	トップコートJW		PB-1 (非歩行仕上げ)	1.1以上

※1 打ち継ぎ部、切り付け部等の補強にセレタック®クロスを使用する場合は、防水層の塗布量が0.5kg/m²増えます。(B-1工法、JW工法、JW-2工法)

※2 日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」の防水層種別による(PA-1、PA-2、PA-3、PB-1仕様)

■材料の割合

ショウワカチオンプライマー

混合比(重量比)	原液	水
	1	1

セレタック®G

(日本建築学会材料種別/Aタイプ)※

項目	16kgセット		34kgセット	
	混和液	粉体	混和液	粉体
固形分	56%		56%	
混合比(重量比)	4kg(1/2セット)	4kg(1/2セット)	17kg	17kg
全固形分	78%			
硬化塗膜比重	1.58			

※日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」の材料種別による(Aタイプ/地上部位、Bタイプ/地下・水槽部位)

セレタック®S、セレタック®JW

(日本建築学会材料種別/Bタイプ)※

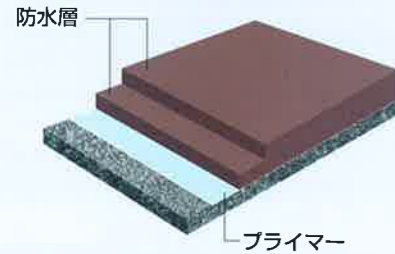
項目	34kgセット	
	混和液	粉体
固形分	55%	
混合比(重量比)	14kg	20kg
全固形分	81%	
硬化塗膜比重	1.55	

地上部位

セレタック®防水工法は日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」に対応しています。

●日本建築学会 [PA-1仕様]

セレタック® A-1工法



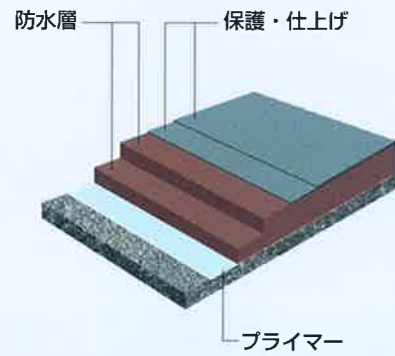
適用部位 サッシ回り、トレンチピット、OAフロア、笠木、バラベット回り他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層	セレタック®G	1.00
3			1.00

★防水層標準塗布量2.0kg/m²/平均厚み(硬化後)0.8mm以上

●日本建築学会 [PA-1仕様+軽歩行仕上げ]

セレタック® A-2工法 (トップコート仕上/UV仕上)



[トップコート仕上]

適用部位 ひさし、急勾配屋根 他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層	セレタック®G	1.00
3			1.00
4	保護・仕上げ	セレタック®トップコート	0.10
5			0.10

★防水層標準塗布量2.0kg/m²/平均厚み(硬化後)0.8mm以上

[UV仕上] トップコートUVは、水系アクリル・ウレタン樹脂を使用し耐候性を高めます。

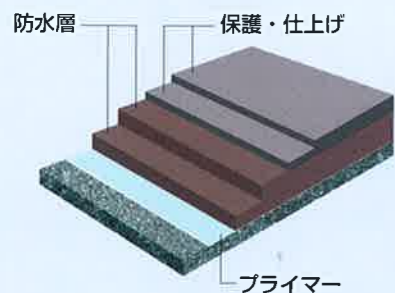
適用部位 ひさし、急勾配屋根 他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層	セレタック®G	1.00
3			1.00
4	保護・仕上げ	セレタック®トップコートUV	0.15
5			0.15

★防水層標準塗布量2.0kg/m²/平均厚み(硬化後)0.8mm以上

●日本建築学会 [PA-1仕様+軽歩行仕上げ]

セレタック® A-3工法 (トップコートS仕上)



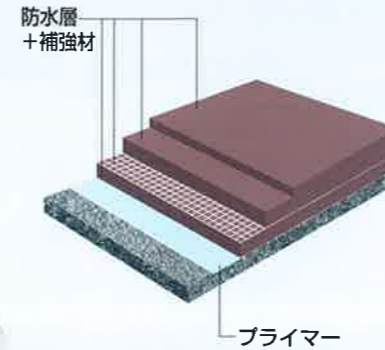
適用部位 ベランダ(下室居室なし)、開放廊下(下室居室なし)、階段他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層	セレタック®G	1.00
3			1.00
4	保護・仕上げ	セレタック®トップコートS	0.50
5			0.50

★防水層標準塗布量2.0kg/m²/平均厚み(硬化後)0.8mm以上

●日本建築学会 [PA-2仕様]

セレタック® C-1工法 (トップコート別途)



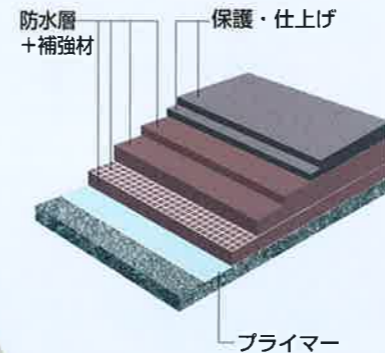
適用部位 ベランダ(下階居室あり)他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層+補強材	セレタック®G	1.00
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m ²
		セレタック®G	1.00
3		セレタック®G	0.60

★防水層標準塗布量2.6kg/m²/平均厚み(硬化後)1.1mm以上

●日本建築学会 [PA-2仕様+軽歩行仕上げ]

セレタック® C-2工法 (トップコートS仕上)



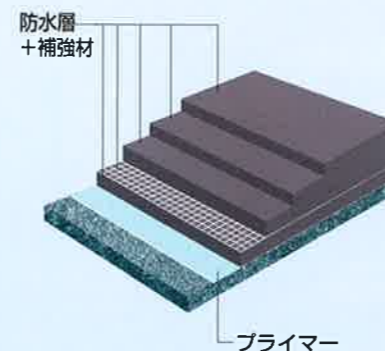
適用部位 ベランダ(下階居室あり)他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層+補強材	セレタック®G	1.00
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m ²
		セレタック®G	1.00
3		セレタック®G	0.60
4	保護・仕上げ	セレタック®トップコートS	0.50
5			0.50

★防水層標準塗布量2.6kg/m²/平均厚み(硬化後)1.1mm以上

●日本建築学会 [PA-3仕様]

セレタック® C-3工法 (トップコート別途)



適用部位 屋上(軽歩行)、開放廊下(下室居室あり)他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層+補強材	セレタック®G	1.00
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m ²
		セレタック®G	1.00
3		セレタック®G	0.80
4		セレタック®G	0.80

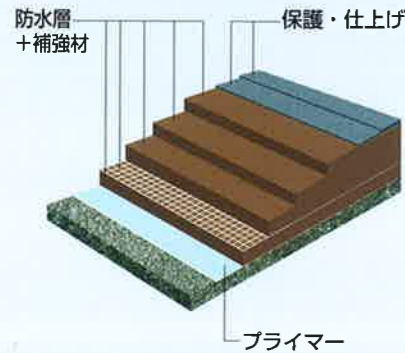
★防水層標準塗布量3.6kg/m²/平均厚み(硬化後)1.6mm以上

地上部位

セレタック®防水工法は日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」に対応しています。

日本建築学会 [PA-3仕様+軽歩行仕上げ]

セレタック® C-4 工法 (トップコート仕上)



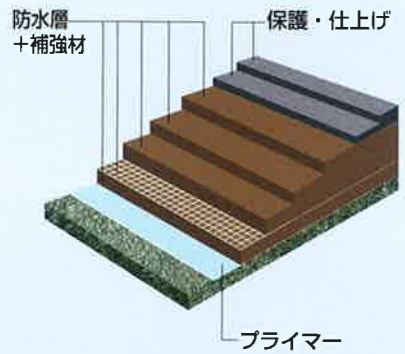
適用部位 屋上(軽歩行)他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層+補強材	セレタック®G	1.00
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m ²
		セレタック®G	1.00
3		セレタック®G	0.80
4		セレタック®G	0.80
5	保護・仕上げ	セレタック®トップコート	0.10
6			0.10

★防水層標準塗布量3.6kg/m²/平均厚み(硬化後)1.6mm以上

日本建築学会 [PA-3仕様+軽歩行仕上げ]

セレタック® C-5 工法 (トップコートS仕上)



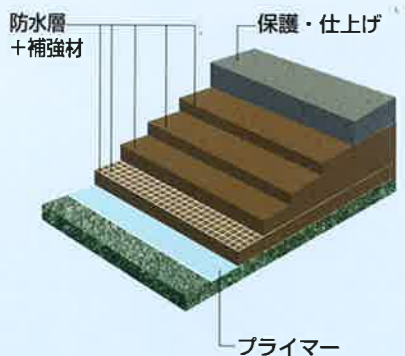
適用部位 屋上(軽歩行)、開放廊下(下階居室あり)他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層+補強材	セレタック®G	1.00
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m ²
		セレタック®G	1.00
3		セレタック®G	0.80
4		セレタック®G	0.80
5	保護・仕上げ	セレタック®トップコートS	0.50
6			0.50

★防水層標準塗布量3.6kg/m²/平均厚み(硬化後)1.6mm以上

日本建築学会 [PA-3仕様+モルタル仕上げ]

セレタック® C-6 工法 (モルタル仕上)



適用部位 浴室、厨房、トイレ、他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層+補強材	セレタック®G	1.00
		セレタック®クロス(補強材)	1.1m ²
		セレタック®G	1.00
3		セレタック®G	0.80
4		セレタック®G	0.80
5	保護・仕上げ	ショウテック早強#200	5mm厚さ

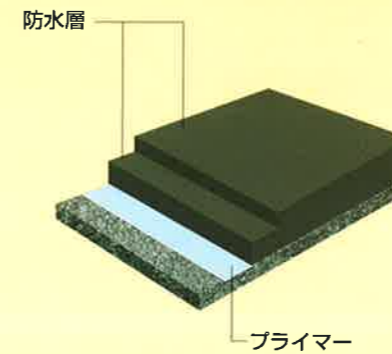
★防水層標準塗布量3.6kg/m²/平均厚み(硬化後)1.6mm以上

地下・水槽部位

セレタック®防水工法は日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」に対応しています。

日本建築学会 [PB-1仕様]

セレタック® B-1 工法



適用部位 水槽類 (受水槽、防火水槽、中水槽、雨水貯留槽) 他
地下外壁(埋め戻しの場合、保護緩衝材等は別途)
地下内壁、エレベーターピット他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	プライマー	ショウワカチオンプライマー(2倍液)	0.15
2	防水層	セレタック®S	1.50
3			1.00

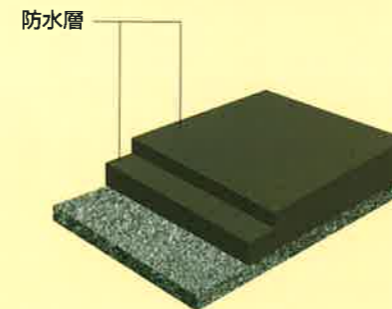
★防水層標準塗布量2.5kg/m²/平均厚み(硬化後)厚さ1.1mm以上

注) 打ち継ぎ部、切り付け部等の補強にセレタック®クロスを使用する場合は、防水層の塗布量が0.5kg/m²増えます。

上水道仕様 (厚生労働省令第5号水質基準適合)

日本建築学会 [PB-1仕様]

セレタック® JW 工法



適用部位 上水道関連水槽(飲料水用水槽、浄水場、配水池)他

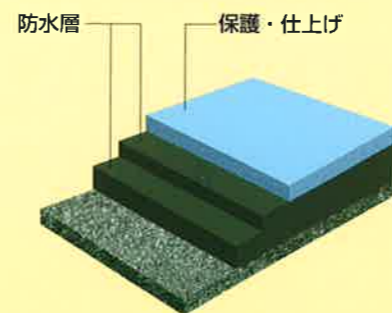
工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	防水層	セレタック®JW	1.50
2			1.00

★防水層標準塗布量2.5kg/m²/平均厚み(硬化後)厚さ1.1mm以上

注) 打ち継ぎ部、切り付け部等の補強にセレタック®クロスを使用する場合は、防水層の塗布量が0.5kg/m²増えます。

日本建築学会 [PB-1仕様+非歩行仕上げ]

セレタック® JW-2 工法 (トップコートJW仕上)



適用部位 上水道関連水槽(飲料水用水槽、浄水場、配水池)他

工程	種別	使用材料	標準塗布量 (kg/m ²)
1	防水層	セレタック®JW	1.50
2			1.00
3	保護・仕上げ	セレタック®トップコートJW	1.00

★防水層標準塗布量2.5kg/m²/平均厚み(硬化後)厚さ1.1mm以上

注) 打ち継ぎ部、切り付け部等の補強にセレタック®クロスを使用する場合は、防水層の塗布量が0.5kg/m²増えます。

各工法共通

1 下地処理(別途工事)

- ・ひび割れ・打ち継ぎ・コールドジョイント・ジャンカ・木コン・セパレーター・ドレン・管回りなどは補強塗りなどを行ってください。
- ・レイタンスなどの脆弱部・粉塵・油脂類・汚れ・さび・突起物はサンディングなどにより除去し、清掃を行ってください。
- ・漏水箇所は止水処理を行ってください。
- ・表面水(付着水・たまり水)は除去してください。下地の水分が飽和状態の場合、プライマーの下地への浸透に悪影響を及ぼすことがあります。

各工法共通

2 プライマーの塗布

- ・ショウワカチオンプライマー2倍液をローラー、刷毛等で規定量を均一に塗布します。
- ・下地の吸い込み、乾燥が著しい場合は、追加塗布により調整してください。
- ・プライマーが硬化乾燥したら次工程に移ります。(硬化乾燥の目安 20℃で60分程度)



各工法共通

3 材料の調合

- ① 攪拌用容器の中にセット単位、あるいは計量済みの混和液を入れます。
 - ② 混和液の比率に見合う粉体を徐々に投入しながら、均一な状態になるよう高速攪拌機で3分間混合します。
- ※(セレタック®G、セレタック®S、セレタック®JWとも要領は同じです)

注意

<材料の練り置きについて>

気温が35℃以上の高温時や、強風時等には表面に皮張りが生じる事がありますので、ビニールシート等で表面を覆うなどの処置してください。また皮張りが生じた場合は水を加えずに皮張り部分のみ取り除き再攪拌してください。

<セレタック®JW、トップコートJWについて>

異物の混入を防ぐため、攪拌用容器は新しいものをご使用ください。また攪拌機は十分に清掃したものをご使用ください。



工法別(例) / A-3工法

「ベランダ、開放廊下、階段等」

4

セレタック®Gの塗布

- ① 混練したセレタック®Gをローラー、刷毛、コテ、吹付け等でピンホール、塗りムラ等の無いように規定量を均一に塗布します。
 - 1回目塗布量(1.0kg/m²)
- ② 4時間(20℃)経過後、1層目の表面硬化を確認後、2回目を塗布します。
 - 2回目塗布量(1.0kg/m²)
 - ※(1回目が指触乾燥しており、材料が動かないことが確認できれば塗り重ねは可能です。)

トップコートSの塗布

- ① セレタック®G塗布後2日(20℃)以上養生してトップコートSを塗布します。使用前にはよく攪拌してください。塗りムラを避けるため2回塗りを行います。
 - 1回目塗布量(0.5kg/m²)
- ② 3時間(20℃)経過後、1層目の表面硬化を確認後、2回目を塗布します。
 - 2回目塗布量(0.5kg/m²)
 - ※(1回目が指触乾燥しており、材料が動かないことが確認できれば塗り重ねは可能です。)

養生

2回目塗布後2日(20℃)以上養生してください。



工法別(例) / B-1工法

「水槽・地下外壁等」

4

セレタック®Sの塗布

- ① 混練したセレタック®Sをコテ、ローラー、刷毛、吹付け等でピンホール、塗りムラ等の無いよう規定量を均一に塗布します。
 - ※吹付け機使用の際は、別途施工要領書をご覧ください。
 - 1回目塗布量(1.5kg/m²)
- ② 4時間(20℃)経過後、1層目の表面硬化を確認後、2回目を塗布します。
 - 2回目塗布量(1.0kg/m²)
 - ※(1回目が指触乾燥しており、材料が動かないことが確認できれば塗り重ねは可能です。)

注意

<セレタック®JW、トップコートJWについて>

異物の混入を防ぐため、コテについては十分に清掃したものをご使用ください。また、ローラー、刷毛は新しいものをご使用ください。

養生

水槽内部に施工した場合は、水張りまでは2回目塗布後、7日(20℃)以上養生してください。



施工上の注意

- 各工法とも一度に規定量以上の厚塗は避けてください。硬化不良の原因となります。
- 気温が5℃以下及び35℃以上、湿度が85%以上の場合は施工を中止するか、適当な保温・採暖を行ってください。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。

塗膜の性能

■ポリマーセメント系塗膜防水材の品質

(日本建築学会材料種別/Aタイプ、Bタイプ)

項目	Aタイプ		Bタイプ			
	基準値	セレタック®G	基準値	セレタック®S	セレタック®JW	
引張強さ (N/mm ²)	0.6以上	1.9	1.0以上	1.1	1.1	
破断時の伸び率 (%)	100以上	153	30以上	90	90	
ゼロスパンテンション 伸び量 (mm)	標準	2.0以上	3.3	1.0以上	2.1	2.1
	劣化 処理後	加熱処理	1.5以上	2.7	-	-
		アルカリ処理	1.5以上	2.9	1.0以上	2.0
	標準	0.5以上	1.6	0.7以上	1.8	1.8
付着強さ (N/mm ²)	湿潤下地	0.5以上	1.5	0.7以上	1.4	1.4
	劣化 処理後	加熱処理	0.5以上	1.8	-	-
		アルカリ処理	0.5以上	1.2	0.7以上	1.5
	浸水処理	0.5以上	1.8	0.7以上	1.5	1.5
透水性	透水量0.5g以下 かつ漏水がないこと	0.2	透水量0.5g以下 かつ漏水がないこと	0.2	0.2	

【試験方法】 日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」
参考資料 ポリマーセメント系塗膜防水材の品質試験方法に準拠

■補強布を用いたポリマーセメント系塗膜防水材の品質

項目	基準値	セレタック®G
ゼロスパンテンション 伸び量 (mm)	標準	3.0以上
劣化 処理後	加熱処理	2.0以上
	アルカリ処理	2.0以上
付着強さ (N/mm ²)	標準	0.5以上

【試験方法】 日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」
参考資料 補強布を用いたポリマーセメント系塗膜防水材の品質試験方法に準拠

■接着性

各種下地との接着性

下地の種類	セレタック®G	セレタック®S	セレタック®JW
鉄板	1.3	1.7	1.5
ステンレス板	1.3	1.7	1.6
ウレタン塗膜	1.4	1.7	1.4

【試験方法】 ・養生条件/23℃ 50%RH
・各種下地の表面をサンダーで目荒し後にセレタック®を塗布
ウレタン塗膜は上塗り7日間養生後、
表面をサンダーで目荒し後にセレタック®を塗布
・セレタック®塗布量
[セレタック®G 2.0kg/m²
セレタック®S 2.5kg/m²
セレタック®JW 2.5kg/m²]
・セレタック®塗布後の養生期間 材齢7日
・試験機器/建研式引張試験機

保護・仕上モルタルとの接着性

モルタルの種類	セレタック®G	セレタック®S
ショウテック早強#200	1.3	1.2
ショウクイックII	1.3	1.1

【試験方法】 ・養生条件/23℃ 50%RH
・コンクリート歩道板にショウワカチオンプライマー
2倍液(0.15kg/m²)塗布し、1日養生後に
セレタック®を塗布
セレタック®塗布後2日養生後にモルタルを塗り付け
・モルタル塗り付け後の養生期間 材齢7日
・セレタック®塗布量
[セレタック®G 2.0kg/m²
セレタック®S 2.5kg/m²
セレタック®JW 2.5kg/m²]
・モルタル塗り付け厚さ(5mm)
・試験機器/建研式引張試験機

■耐摩耗性

項目	セレタック®G	セレタック®S	セレタック®JW	
摩耗量 (g)	500回転	0.040	0.030	0.140
	1000回転	0.060	0.060	0.200

【試験方法】 ・JISK7204に準拠
・養生条件 23℃ 50%RH
・セレタック®塗布後の養生期間 材齢28日
・セレタック®塗布量
[セレタック®G 2.0kg/m²
セレタック®S 2.5kg/m²
セレタック®JW 2.5kg/m²]
・荷重 1kg、摩耗輪CS-17

※試験場所/昭和電工建材(株) 建材技術センター
※記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。

塗膜の水質

■セレタック®JW

【試験内容】 平成16年労働省令第5号及び厚生労働省告示第14号による浸出試験
【試験場所】 社団法人東京都食品衛生協会 東京食品技術研究所

事項	単位	分析結果	基準
カドミウム及びその化合物(カドミウムの量に関して)	mg/l	0.001未満	0.001以下
水銀及びその化合物(水銀の量に関して)	mg/l	0.00005未満	0.00005以下
セレン及びその化合物(セレンの量に関して)	mg/l	0.001未満	0.001以下
鉛及びその化合物(鉛の量に関して)	mg/l	0.001未満	0.001以下
ヒ素及びその化合物(ヒ素の量に関して)	mg/l	0.001未満	0.001以下
六価クロム化合物(六価クロムの量に関して)	mg/l	0.005未満	0.005以下
シアン化物イオン及び塩化シアン(シアンの量に関して)	mg/l	0.001未満	0.001以下
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/l	0.1未満	1.0以下
フッ素及びその化合物(フッ素の量に関して)	mg/l	0.08未満	0.08以下
ホウ素及びその化合物(ホウ素の量に関して)	mg/l	0.1未満	0.1以下
四塩化炭素	mg/l	0.0002未満	0.0002以下
1,4-ジオキサン	mg/l	0.005未満	0.005以下
1,2-ジクロロエタン	mg/l	0.0004未満	0.0004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	0.002未満	0.002以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.004未満	0.004以下
ジクロロメタン	mg/l	0.002未満	0.002以下
テトラクロロエチレン	mg/l	0.001未満	0.001以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l	0.0006未満	0.0006以下
トリクロロエチレン	mg/l	0.003未満	0.003以下
ベンゼン	mg/l	0.001未満	0.001以下
ホルムアルデヒド	mg/l	0.008未満	0.008以下
亜鉛及びその化合物(亜鉛の量に関して)	mg/l	0.01未満	0.1以下
アルミニウム及びその化合物(アルミニウムの量に関して)	mg/l	0.02未満	0.02以下
鉄及びその化合物(鉄の量に関して)	mg/l	0.03未満	0.03以下
銅及びその化合物(銅の量に関して)	mg/l	0.01未満	0.1以下
ナトリウム及びその化合物(ナトリウムの量に関して)	mg/l	2未満	20以下
マンガン及びその化合物(マンガンの量に関して)	mg/l	0.005未満	0.005以下
塩化物イオン	mg/l	2未満	20以下
蒸発残留物	mg/l	5未満	50以下
陰イオン界面活性剤	mg/l	0.02未満	0.02以下
非イオン界面活性剤	mg/l	0.005未満	0.005以下
フェノール類(フェノールの量に換算して)	mg/l	0.0005未満	0.0005以下
有機物[全有機炭素(TOC)の量]	mg/l	0.5未満	0.5以下
味	-	異常なし	異常でないこと
臭気	-	異常なし	異常でないこと
色度	度	0.5未満	0.5以下
濁度	度	0.2未満	0.2以下
エピクロロヒドリン	mg/l	0.01未満	0.01以下
アミン類(トリエチレンテトラミンとして)	mg/l	0.01未満	0.01以下
2,4-トルエンジアミン	mg/l	0.002未満	0.002以下
2,6-トルエンジアミン	mg/l	0.001未満	0.001以下
酢酸ビニル	mg/l	0.01未満	0.01以下
スチレン	mg/l	0.002未満	0.002以下
1,2-ブタジエン	mg/l	0.001未満	0.001以下
1,3-ブタジエン	mg/l	0.001未満	0.001以下
N,N-ジメチルアニリン	mg/l	0.01未満	0.01以下
残留塩素の減量	mg/l	0.3	0.7以下

分類	製品名	荷姿	内容	一般性状	色調 (硬化後)	1セット(缶)当たり 標準施工面積			
Aタイプ(地上部位)	セレタック®G 	16kgセット (丸缶入り)	粉体 4kg袋×2袋	外観/灰色粉末 主成分/セメントモルタル粉末	茶褐色	A-1工法 A-2工法 A-3工法	8.0m ²		
			混和液 4kg袋×2袋	外観/乳白色液体 主成分/アクリル・EVA系エマルジョン 固形分/56% 粘度/400~1000mPa・s		C-1工法 C-2工法 C-3工法 C-4工法 C-5工法 C-6工法	6.1m ² 4.4m ²		
			34kgセット	粉体 17kg袋		外観/灰色粉末 主成分/セメントモルタル粉末	(限定色) 茶褐色 白色	A-1工法 A-2工法 A-3工法	17m ²
				混和液 17kg缶		外観/乳白色液体 主成分/アクリル・EVA系エマルジョン 固形分/56% 粘度/400~1000mPa・s		C-1工法	13m ²
								C-2工法	9.4m ²
								C-3工法 C-4工法 C-5工法 C-6工法	
Bタイプ(地下・水槽部位)	セレタック®S 	34kgセット	粉体 20kg袋	外観/灰色粉末 主成分/セメントモルタル粉末	茶褐色	B-1工法	13.6m ²		
			混和液 14kg缶	外観/乳白色液体 主成分/アクリル系エマルジョン 固形分/55% 粘度/700~2300mPa・s					
	セレタック®JW 	34kgセット	粉体 20kg袋	外観/灰色粉末 主成分/セメントモルタル粉末	茶褐色	JW工法 JW-2工法	13.6m ²		
			混和液 14kg缶	外観/乳白色液体 主成分/アクリル系エマルジョン 固形分/55% 粘度/700~2300mPa・s					
プライマー	ショウワカチオン プライマー 	4kg缶 16kg缶	セレタック®シリーズ 共通プライマー	外観/微黄濁色液体 主成分/アクリル系エマルジョン	透明	4kg缶	53m ²		
						16kg缶	213m ²		

※日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」の材料種別による



分類	製品名	荷姿	内容	一般性状	色調 (硬化後)	1セット(缶)当たり 標準施工面積
トップコート	セレタック® トップコート 	15kg缶	セレタック®(白色) に使用	主成分/アクリル系エマルジョン	(標準色) グレー グリーン	75m ²
		18kg缶			クリア	90m ²
	セレタック® トップコートS 	20kg缶		主成分/アクリル系エマルジョン (骨材入り)	(標準色) グレー グリーン	20m ²
	セレタック® トップコートUV 	16kg缶	高耐候性 トップコート	主成分/反応硬化形 アクリルウレタン系 合成樹脂エマルジョン	グレー	53m ²
	セレタック® トップコート JW 	34kgセット	粉体 20kg袋	外観/青色粉末 主成分/セメントモルタル粉末	ブルー	34m ²
			混和液 (セレタック®JW混和液) 14kg缶	外観/乳白色液体 主成分/アクリル系エマルジョン 固形分/55% 粘度/700~2300mPa・s		
セレタック® クロス 	100m/巻 (幅103cm)	補強材	ビニロン繊維			
ショウテック® 早強#200 	25kg袋	保護モルタル、 下地補修材	急結高強度無収縮 ポリマーセメントモルタル	5mm厚さ	2.6m ²	
ベタルス®WP 	4kg缶 18kg缶	ショウテック®早強専用 混和剤	アクリル系エマルジョン			
ショウワ止水剤 	20kg缶	瞬結止水セメント				
ストッパ 	500個/箱	木コン穴埋め用 セメント成型体				

各部納まり図例

